

赤川砂防だより

みんなで防ごう土砂災害



国土交通省

発行 新庄河川事務所
赤川砂防出張所
第73号 平成25年 2月

工事現場の安全パトロールを実施 -庄内地区-

昨年11月13日(火)「第1回庄内地区安全パトロール」を行いました。
このパトロールは工事中のケガや事故、第三者に対する負傷や損害を防止する目的で行っているものです。

今回は、庄内地区の2つの出張所(赤川砂防出張所・立谷沢川砂防出張所)が施工業者と合同で実施しました。

この日は総勢35名が立谷沢川砂防出張所管内の工事現場の状況や安全管理体制の点検を行いました。

その後、点検結果の報告と改善点の検討を行い、庄内労働基準監督署の方から建設業の労働災害防止策について、事例を紹介しながら安全講話を頂きました。

参加者一同は、工事事故の防止に官民一体となってより一層取り組んで行くことを決意し、この日の安全パトロールを終了しました。

なお、改善の必要があった箇所については、後日速やかに是正されました。

【評価された事項】

場外への運搬について、危険予知マップを作成・活用するなどの工夫がなされている。

危険予知マップ No.1

運搬経路図



現場の安全点検



検討会の様子

山大農学部との調査研究合同報告会

当事務所では、早田川において砂防堰堤にスリットを入れる工事や溪流環境調査としての魚類調査等を実施しています。一方、山形大学では早田川のサクラマス産卵床調査等を行っています。このように早田川で工事や各種調査を行っていることから、昨年12月25日(火)、山大農学部において、大久保教授、渡邊准教授及び学生が調査や研究の報告会を実施しました。

この報告会に当事務所からは、花岡事務所長はじめ13名が参加し、2件の報告を行いました。



報告会の状況 (H24. 12. 24)

【調査研究報告会】

(山大農学部報告)

- ◎昨年度の第1砂防堰堤のスリット化とサクラマスの遡上・産卵
- ◎今年度の早田川におけるサクラマスの遡上・産卵床の状況
- ◎砂防堰堤がカジカの体色に与える影響の可能性
- ◎標準体長と遊泳力に関する一考察 -イワナの尾びれ長比-

(新庄河川事務所報告)

- ◎河道掘削・河道内樹木伐採計画における環境への再インパクト抑制方策について
- ◎早田川における遡上魚調査



早田川サクラマス遡上合同調査 (H24. 10. 11)

～平成24年 新庄河川事務所 10大ニュース～

①肘折河道閉塞対策で高度技術支援

～地すべり解析・浸水対策土のう堤防計画、現地監視のため人員と器材も集結、渡河施設設置 奥田副大臣視察(5.27) 県道復旧工事の起工式・見学会(8.11)～



②融雪期銅山・立谷沢川等で地滑り多発

～銅山川河道閉塞で温泉街が浸水の危機に～



④西川町大規模災害危機管理演習

～11月6日11機関150名参加、テレビ局、県警新たに～



③立谷沢川濁沢深層崩壊対応業績表彰等

～緊急対応東北地方整備局業績表彰優良工事、災害対策功労賞～



- ⑤庭月築堤(鮭川)・実栗屋災害復旧(舟形)の完成
- ⑥岩ヶ袋・海谷地区(大石田町)消流雪施設通水式
- ⑦記録的な豪雪雪害多発、鍋嶽沢工事の打切
- ⑧積雪期間の防災訓練初めて実施
- ⑧出前講座、砂防・治水教室を積極的に展開
- ⑩砂防担当副所長新設

(次点)学会活動に積極的に参加・支援

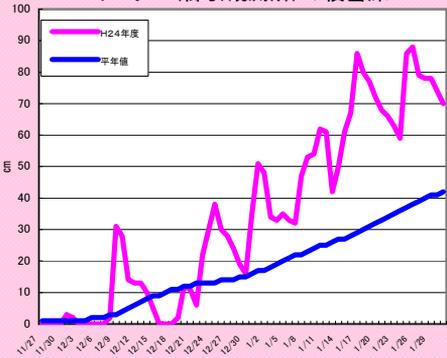


～山間部の砂防堰堤工事で降雪による影響は?～

H22, 23シーズンは2年連続で豪雪となりました。朝日地区から最も近いアメダスの櫛引観測所のデータでは、1月末日現在、今シーズン(H24-25)も豪雪傾向にあり、積雪の深さは平年よりかなり多い状況となっております。

山間で施工していた砂防堰堤工事付近でも、例年になく雪の降り始めが早く、工事現場でも対応に苦慮しましたが、無事工期限内に何とか終わることが出来ました。

アメダス(櫛引観測所)の積雪深



お問い合わせ先

国土交通省 新庄河川事務所
赤川砂防出張所

〒997-0404 鶴岡市下名川字落合227
TEL 0235-53-2841 FAX 0235-53-2807

HPアドレス <http://www.thr.mlit.go.jp/shinjou/>
Eメール shinjou@thr.mlit.go.jp

ご覧いただいた感想や、砂防事業・国土交通省の事業へのご質問、ご意見をお寄せください。

